

# のり海況速報 第12報 (24-12)

平成25年 3月22日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 3/19：内湾(わかふさ)、3/21：内房北部(わかふさ)  
 関東・東海海況速報(3/8-22)、東京湾口海況図(3/8-22)  
 自動観測ブイデータ(3/8-22)  
 モニタリングポスト(3/19：国交省関東地方整備局)、千葉県環境研究センター(3/19)

## 【水温・塩分の状況】 依然、沖合水の動きに注意。

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(3/4)より約2~5℃上昇し、全域で11~14℃台になっています。塩分は30~33台前半で、千葉県側では平年より高くなっています。
- ・内房北部の表層水温は3月8日頃から流入した沖合水の影響によって13~16℃台で、下洲から大貫、湊地先では水温16℃以上、塩分34以上の高温・高塩分の水塊が流入しています(図1)。
- ・また、内房北部縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2下)でも、水温15℃以上の水塊が沿岸に向かって湧昇していますので、この動きには注意が必要です。

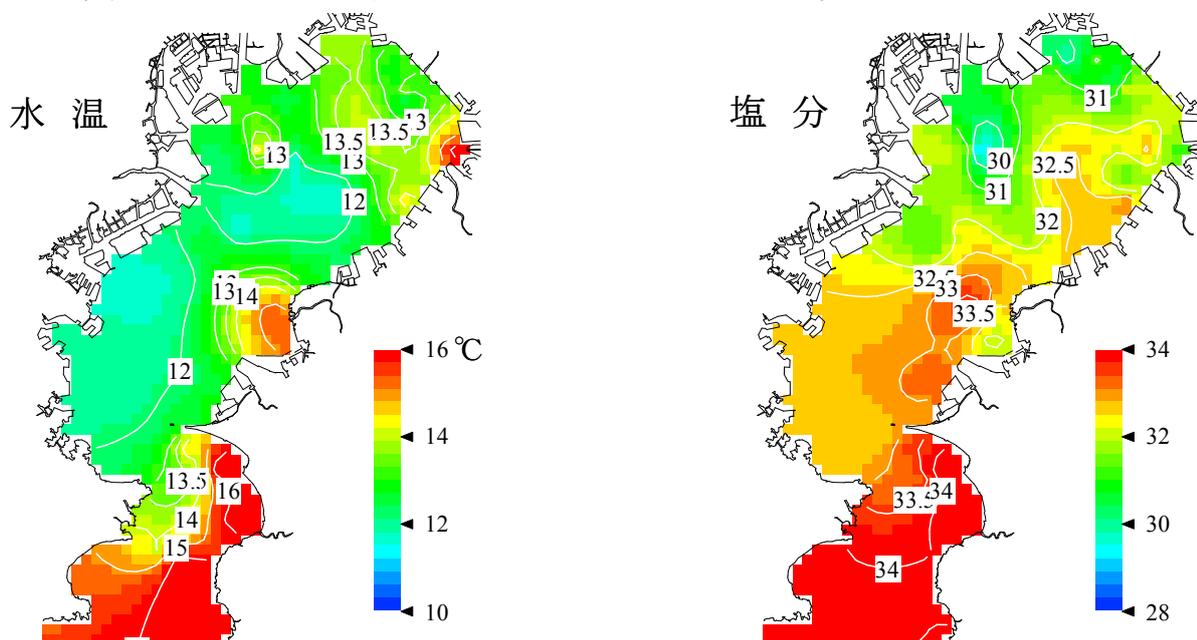


図1 表層の水温・塩分の分布(平成25年 3月19-21日)

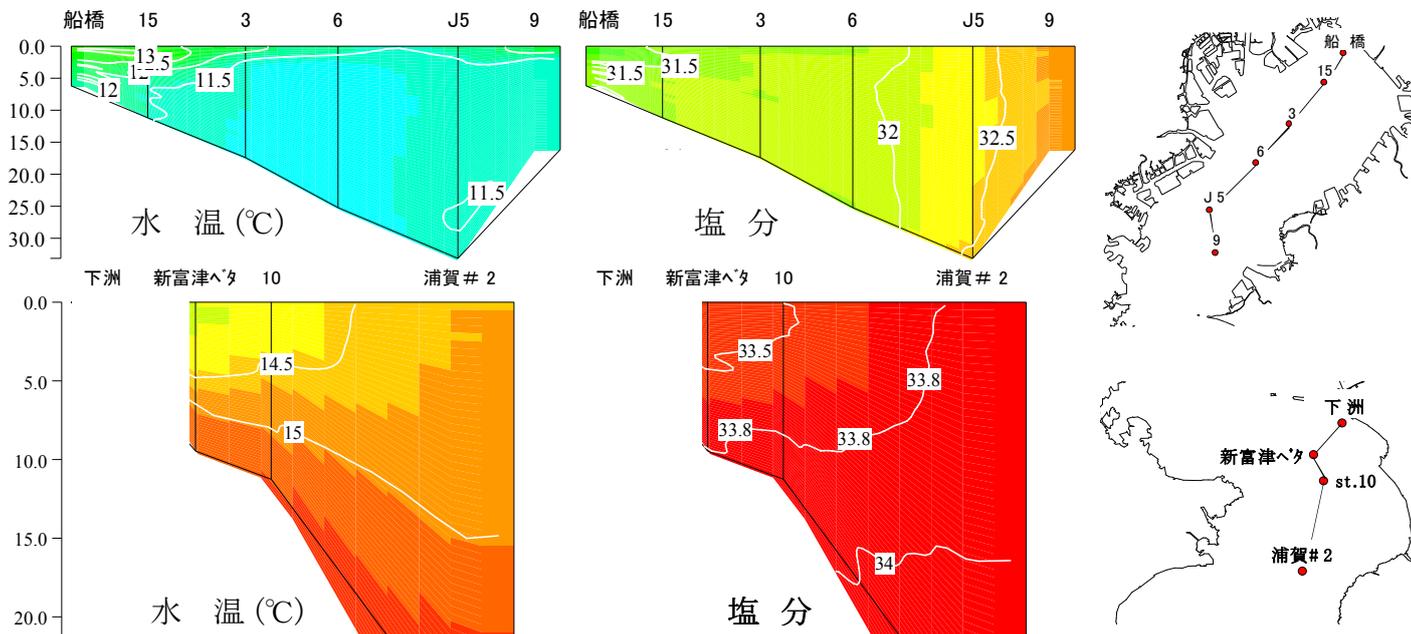


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成25年 3月19-21日)  
 (上：内湾(3/19)、下：内房北部(3/21)、右：調査ライン)

## 【赤潮・栄養塩の状況】 沖合水及びプランクトンの増加による栄養塩不足

- 赤潮は湾奥部の千葉県側で発生し、千葉北部地区のノリ漁場周辺ではpHが8.5に上昇、透明度は2m前後に低下し、水色も褐色を呈しています。
- 優占種はユーカンピアで、タラシオシラやキートケロスもみられています。
- 表層の栄養塩は窒素(DIN)は下洲から大貫、湊地先で少なく(図3左)、リン(DIP)は全域でかなり少なくなっています(図3右)。各のり漁場でも12日頃からノリの色落ちが心配される濃度まで低下していますので(図4)、今後の動向には注意が必要です。

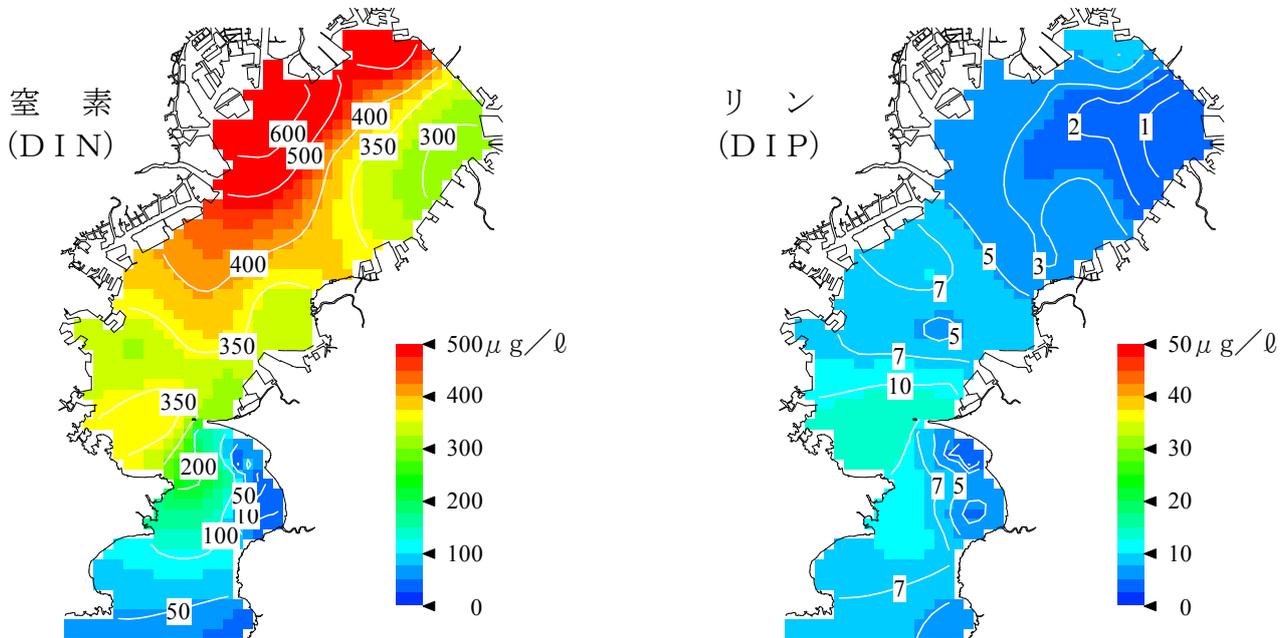


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成25年 3月19-21日)

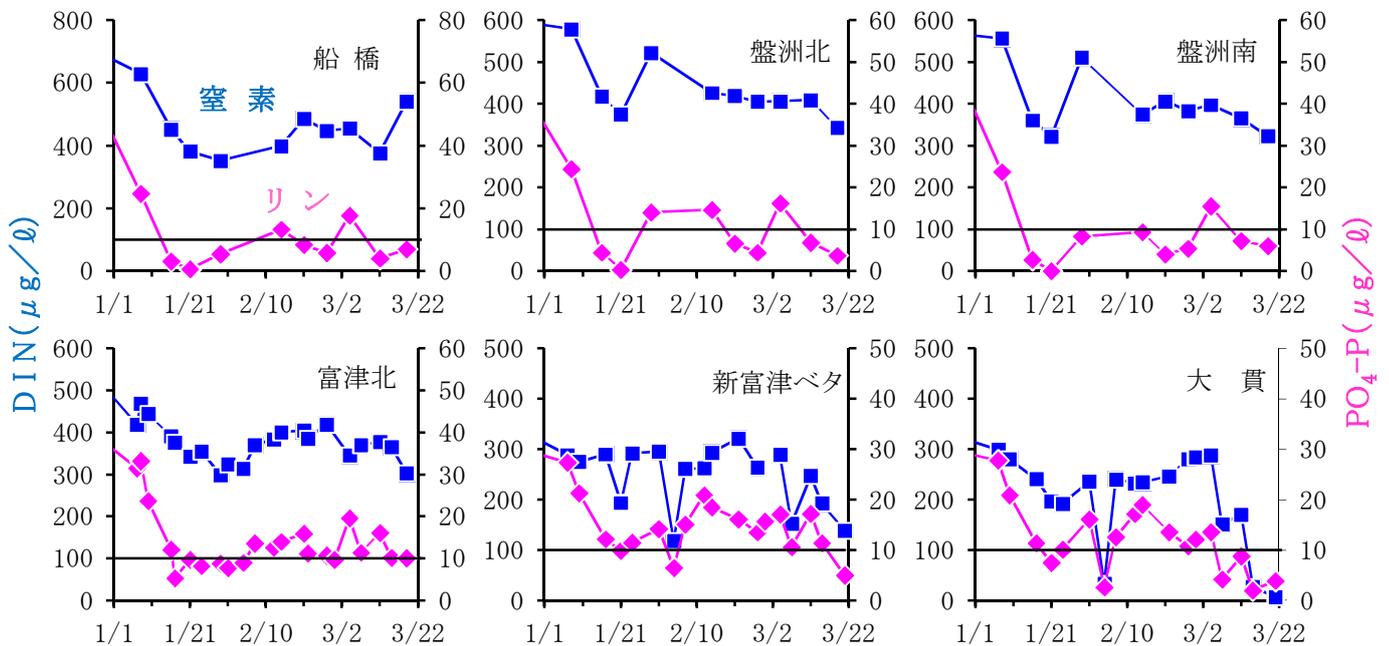


図4 各地先における栄養塩濃度の経過(表層：平成25年1月1日～25年3月21日)  
(図中の横線はノリの色落ちを引き起こすとされる目安の濃度 ■:DIN ◆:PO<sub>4</sub>-P)

### り養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各り養殖場(三番瀬、盤洲北部、盤洲南部、富津岬北、富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”り養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：[http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯：[http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)